

Windows^(R) 10 IoT Enterprise
Windows^(R) Embedded 8.1 Industry Pro
Windows^(R) Embedded 8.1 Industry Pro Retail
Windows^(R) 7 Ultimate for Embedded Systems
Windows^(R) 7 Professional for Embedded Systems
Windows^(R) Embedded Standard 7

目次

■ご注意	OS-2
■リカバリーの流れ	OS-3
■増設機器の排除	OS-3
■ BIOS 設定	OS-4
■リカバリー	OS-4
■増設機器の取り付け	OS-8
■ライセンス認証	OS-8

「リカバリー手順書」では、ハードディスクなどの起動ドライブに、OS やデバイスドライバーなどのソフトウェアを上書きし、工場出荷時に近い状態にしておす手順「リカバリー手順」について説明しています。

通常、リカバリーを行う必要はございません。何らかの原因（コンピューターウイルスなど）により OS が起動できなくなった場合など、止むを得ない場合にリカバリーを行います。

リカバリーを行う場合は、下記の注意事項を必ずお読みください。

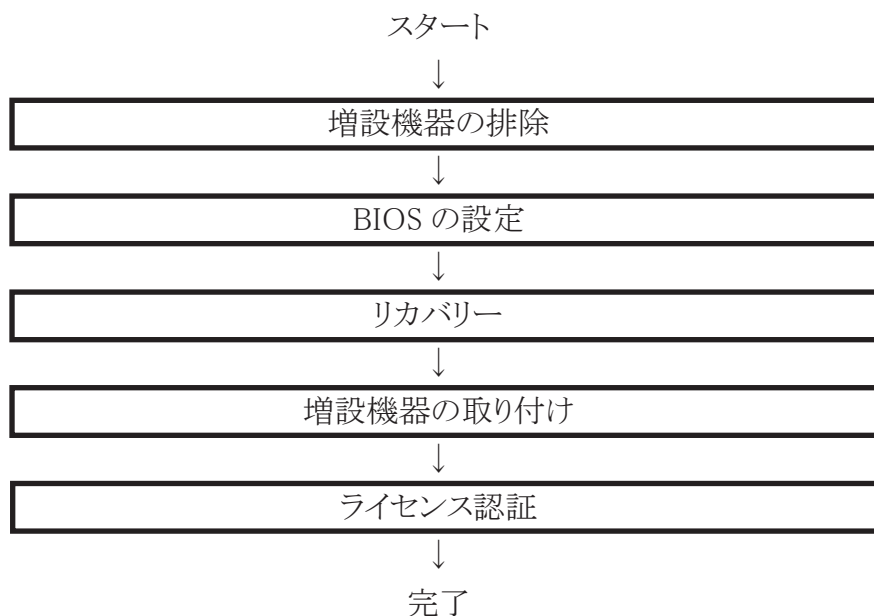
！ ご注意

- ① 「リカバリー手順書」では、ハードディスクドライブや SSD 等（以降ハードディスクと表現）にインストールされている OS およびその他のデータを削除します。重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- ② お客様は、本リカバリーディスクを取得したカスタムコントローラ（タッチパネル PC を含む）1 台に限定して使用できます。
- ③ 「リカバリー手順書」の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。
- ④ 本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、③項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ⑤ 「リカバリー手順書」に記載されている製品型番、ソフトウェアなどのバージョンや画面表示などは、作成した時点の情報です。最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- ⑥ 本製品はカスタムコントローラです。「リカバリー手順書」には、お客様のカスタムコントローラに搭載されていないハードウェア部品（拡張ボードなど）の記述が含まれている場合がございます。
また、一部のハードウェア部品には別途ドライバーソフトのインストール、またはアプリケーションソフトのインストールが必要な場合がございます。リカバリー後に、付属の製品仕様書やその他の取扱説明書をご確認ください。
- ⑦ リカバリー完了後、必要に応じ Windows Update 等でセキュリティ対策ください。
- ⑧ リカバリーディスク及び本書は、日本語表示を基本にしています。

Sorry. A RecoveryDisc and this reference manual are available in Japanese only.

■リカバリーの流れ

以下の手順でリカバリーします。



■増設機器の排除

出荷時以降に、お客様が拡張ボードなどを増設している場合には、それらを一旦取り外してください。

取り外す増設機器には次のような部品がございます。

シリアル (COM) ボード、外部接続の USB 機器 (マウス/キーボードを除く)
LAN ケーブル、同じ部品を複数実装している場合 (LAN ボードなど)

取り外さなくても構わない増設機器には次のような部品がございます。

メモリーモジュール、外部接続のモニター、スピーカー
UPS 機能付きのバッテリーパックやそのためのケーブル類

POINT: ハードディスクドライブや SSD などの補助記憶装置は、その接続状態や、接続台数、領域分割状態によって、ドライブ名が変わる場合があります。

POINT: 起動ドライブ以外の補助記憶装置へリカバリーすることを避けるためには、起動ドライブ以外の補助記憶装置を一旦取り外します。外しておくことで、それらへ上書き消去することがありません。

■ BIOS の設定

一般に、出荷時設定のままご使用されている場合は、BIOS を設定する必要がありません。BIOS 設定を変更されている場合は、本書と一緒に綴じ込んである「BIOS 出荷時設定」を参考にして、出荷時の状態に戻す、あるいはリカバリー時の設定にしてください。

POINT: リカバリーディスクは DVD ディスク（一層又は二層）です。

ご使用の場合には、DVD ドライブ（あるいは上位互換ドライブ）から起動するように BIOS を設定します。

カスタムコントローラに、DVD ドライブ（あるいは上位互換ドライブ）が搭載されていない場合は、起動可能な外付け DVD ドライブなどをご用意ください。

カスタムコントローラによっては、BIOS の設定項目に「DVD」ではなく「CD-ROM」のように表示されたり、ドライブ型番が表示される場合があります。

■リカバリー

1. カスタムコントローラの電源を入れ、リカバリーディスクを DVD ドライブにセットします。
2. リカバリーディスクによる「Press any key to boot from CD or DVD」のメッセージが画面左上に表示されたら、すぐに任意のキーを押します。

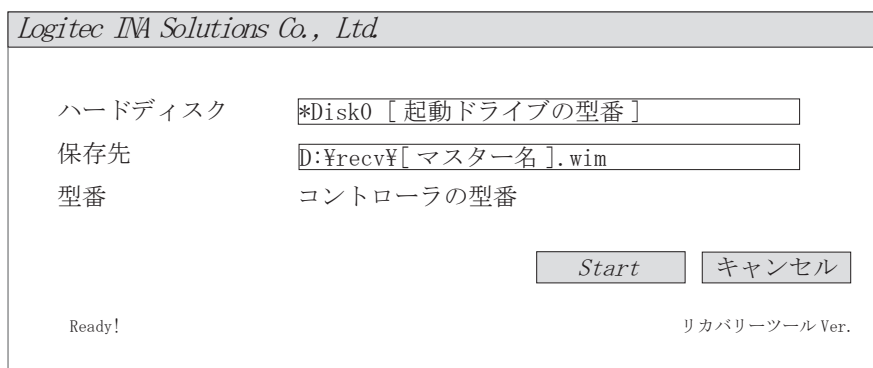
Press any key to boot from CD or DVD.



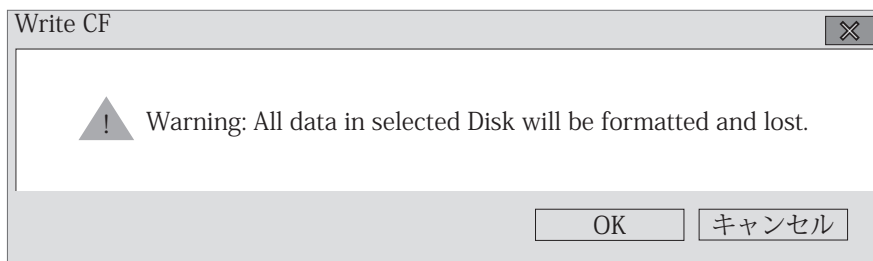
ご注意

- 任意のキーを押さなかった場合、リカバリーディスク以外に起動可能なドライブが在ると、BIOS の設定に従ってそれらのドライブから起動することがあります。他のドライブから起動してしまった場合は、「BIOS 出荷時設定」を参考にして、出荷時の状態に戻す、あるいはリカバリー時の設定にしてください。

3. しばらくすると、システムリカバリー画面が表示されます。(下図はイメージです。)
[START] ボタンを押して (クリックして)、リカバリーを実行します。



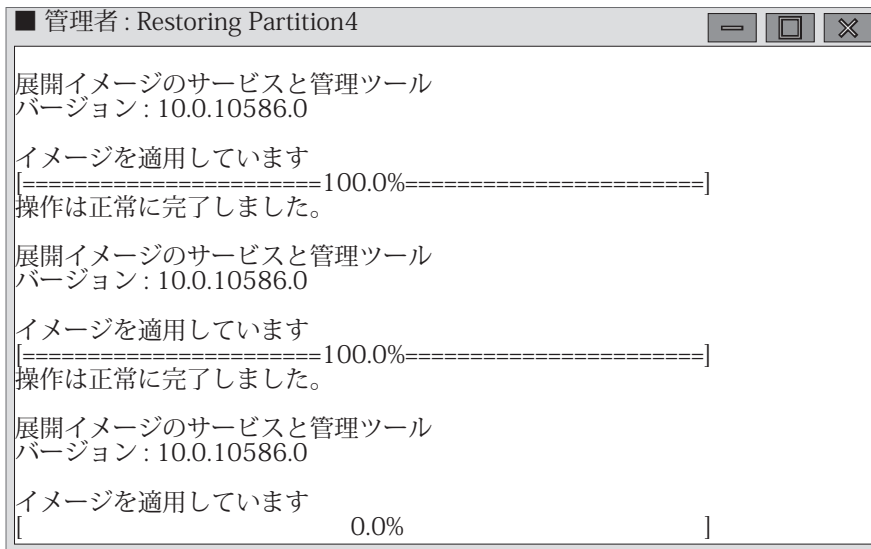
4. 警告ウィンドウが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



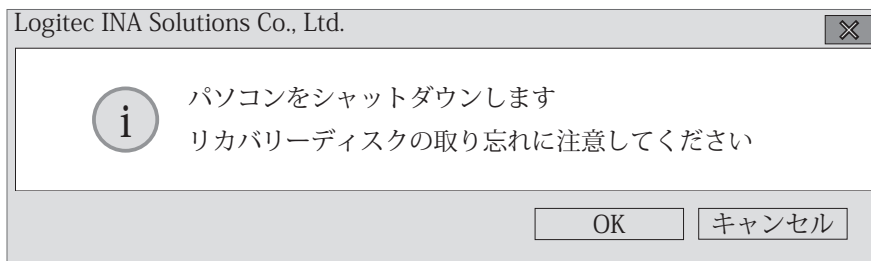
ご注意

- ハードディスクにインストールされている全てのデータを削除します。
中止するには、[キャンセル] ボタンをクリックし、画面の指示に従います。
- リカバリー処理を優先するため、以降の画面表示の一部に遅延が発生します。
ご了承ください。

5. リカバリーが進行します。しばらくお待ちください。（下図はイメージです。）



6. リカバリーが完了するとメッセージが表示されます。



7. リカバリーディスクを取り外し、DVDドライブのトレイを閉じます。

8. [OK] ボタンをクリックすると、自動的に電源が切断されます。

カスタム仕様によっては、電源が自動切断されません。
このような場合、電源スイッチを押して電源を切断してください。

9. 電源が完全に切断されてから 30 秒以上お待ちください。



ご注意

- ・カスタムコントローラによってはここで、BIOS の再設定が必要です。「BIOS 出荷時設定」を参考にして、出荷時の状態に戻してください。
-

10. 再び電源を入れると Windows のセットアップが始まります。
画面の指示に従ってセットアップします。

POINT: リカバリー途中で停止したり、NG 表示された場合、カスタムコントローラに何かしらの障害が発生していることが考えられます。

出荷時状態以降に取り付けた増設機器があればそれらを取り除き、BIOS 設定を行ってから再度リカバリーをお試してください。



ご注意

- ・リカバリー直後の Windows は、機能の一部が制限されている場合がございます。機能を有効にするために、2 回ほど再起動してください。
 - ・Windows 10 の起動時、シャットダウン時の背景色について
初回～2 回目の起動時及びシャットダウン時において、背景色が変わる場合がございます。この挙動は Windows 10 の仕様上の制約であり、設定が変更されたわけではありません。複数回再起動を実施することで、色が変わった背景色が元に戻ります。
-

■増設機器の取り付け

取り外した機器があれば、これらを元通り取り付けます。

POINT: 複数の機器を一斉に取り付けずに一つずつ取り付けますと、デバイスドライバーのインストールなどがスムーズに行えます。

POINT: 拡張ボードなどの増設機器は一般にデバイスドライバーのインストールが必要です。又、増設機器によりドライバーのインストール方法が異なります。増設機器のマニュアルをご覧になり、ドライバーのインストールを行ってください。(本書では説明していません)

■ライセンス認証

1. Windows が起動している状態で、インターネットに接続します。
LAN ケーブルの接続が必要であれば接続します。
2. インターネットに接続することで、Windows 10 や 8.1 はライセンス認証が完了します。
Windows 7 の場合は一般に、ライセンス認証を行ってください。



ご注意

- ・インターネットに接続できない場合、あるいはライセンス認証が正常に行えない場合は、「ファイル名を指定して実行」から「slui.exe 4」を実行します。
その後、Windows の画面の指示に従ってライセンス認証します。
 - ・その他のアプリケーションでも、ライセンス認証が必要な場合がございます。
本書では説明していません。
-